ＯＣＳＩＡの皆様

こんばんは。 夜分遅くに申し訳ありません。1回生の宮田将徳です。 日増しに暖かくなり、過ごしやすい気候になってきました（花粉は例外ですが……）。

   遅くなりましたが、先日行われた３月定例会の議事録をお送りします。

◎３月定例会◎ 日時：２０１３年３月１２日（火） 場所：入院棟１１階Ｃカンファレンスルーム

＜参加者＞

  先生方：片岡先生、佐藤先生、安田先生、猪田先生、松坂先生、黒田先生

ＳＰさん：前田さん、井上さん、三石さん

学生：川地さん（吉備４年）、福安さん（医４年）、山下さん（医４年）、池田さん（産医２年）、佐野さん（医2年）、廣瀬さん（医2年）、川野さん（医2年）、難波さん（医2年）、宮田（医1年）      自己紹介テーマ「今年度１番の○○」  今回は、北九州は産業医科大学から2年生の池田さんが来られました。ＯＣＳＩＡだけでなく、各地での勉強会にも参加されるそうで、とても刺激を受けました。是非またＯＣＳＩＡへお越し下さい！

<スケジュール＞

　今年度の振り返り   平成２４年度の定例会も今回が最後ということで、今年度の振り返りをしました。今年度行われた行事を振り返りつつ、良かったと思う点や、改善した方がよいと思われる点を出しながら話し合いをしました。良かった点としては例えば、 ・小グループでの医療面接（→プレと、皆の前でやる医療面接との中間で良いステップアップになる） ・オシア祭り（→将来に向けて参考になった、モチベーションが上がった、等々） ・医療関係者としての原点を感じられる空間があることなどが出ました。   一方改善すべき点としては、主に①「医学部以外の人にももっと来てもらう為には？」、②「初めて来た人の受け入れ方」、③「（特に定例会での）時間の使い方」、などについての意見やアイディアが出ました。   今回上がった良い点を参考にしつつ、反省を活かしていきましょう！

  Ⅱ　医療面接

    医師役：山下さん

　患者役：前田さん

  いつもの医療面接とはまた一味違う雰囲気で進みました。松坂先生が仰られていたように、「知らないもの・ことに対して、知らないなりにどんな姿勢を見せられる？」と考えることが一つのポイントだった気がします。来年度も接してみたいなと思うようなシナリオでした。

～次回予告（4月定例会）～   日時：2013年4月9日（火） 場所：管理等8階　第10カンファレンスルーム

今年度も先生方やＳＰさん達には本当にお世話になりました。最後ではありますが、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。 そしてＯＣＳＩＡの皆様、来年度もよろしくお願いします。

夜遅くに長文失礼いたしました。 体調にはくれぐれもお気を付けください。

-- 岡山大学医学部医学科  1回生              宮田  将徳  (YUKINORI  MIYATA )a

以下、反省会で出た意見

・オシア祭りで、今活躍されているOBの方のお話を聞くことができたり、出会いがあったりしたことがよかった。

・小グループがよかった。プレと前でやるやつのちょうど中間に位置していて、ステップアップになる。

・オシア祭りでモチベーションが上がった！オシアに入ることで、将来どうなるかの形が見えた（モデルケースになった）

・SPさんに来て頂いていて、医療面接が1、2回だけで終わってしまうのはもったいない。

・医療面接への参加の機会が少ない。もっと増やせないか。

・顔見知りが出来る機会になっているのでそれはそれでよい（SPさんから）。SPも学校の授業で出るときは緊張するので、知った顔を見つけたときにはほっとする

・低学年向けに時間短縮バージョンを作るとか

・SPさんの勉強の場としての機会を作るとか

・薬剤師側の視点の違いが意見を述べる際に言えたらいいなと思っている。

・薬学部生にコミュニケーション力は必要だが、学生自体の特性としてなかなか前に出てこない（積極的にこういった勉強会に参加する学生自体が少ない）。

・初めての人が馴染みにくい空気がある

　が、初めての人が馴染める空間は学習の場として効果が薄い

・医療関係者の原点を感じられる空間がある

・コミュニケーションのWS（医療面接以前の）があると低学年でも入りやすいかも

・OBを使ってのWSをもっとしたら？

・初めて来たときに、「何処に座っていいのかしら？どうしたらいいのかしら？」

と迷った。アウェー感を感じた。（途中からの参加だったからだけど）

・初めての人に優しくない（医療面接の仕方、フィードバックの仕方とかがわからない）

・初めての人をフォローできる体制を（専任の人をつけるとか）

・初参加の人にきちんと感想を言ってもらおう（いい点を答えようとするし、そうすることでオシアの良さを自己認識できる）

・もやっとしたところ（オシアに対する不満みたいなもの）を出せる機会を作る

・参加者が自分の居場所を作れることをフォローできると定期的に来てもらえるようになるだろう

・医学部以外の学生を確保できるか。低学年で獲得できると良い。←OBに語らせるとどういったことが役に立ったかが飲み込みやすい

・場のセッティングが初参加の人でもすぐに分かるように。

・時間きっちり！集中してとりくむ！無駄にしている時間が多い。

・シナリオが定着したので参加しやすくなった（SPさん）

・続き物がよかった（同じ背景で変わって行くのはシナリオ的にメリット多い）

・先生方の医療面接を学生と比較して見られたのがよかった